

最近はおークションサイトが人気で、自分で撮った写真をつけて出品する方が増えていますが、写真の有無や写真の綺麗さで売れ行きも変わります。オークションサイト以外でも、会社やお店のホームページに掲載される写真は、会社やお店のイメージを左右しかねません。“カメラの基本”と“撮影テクニック”を知れば、驚くほど写真は変わります。

カメラまかせはもう卒業！ 工夫次第でこんなに綺麗に撮れます。

デジカメの高画素化が進み、シャッターを切っただけで、それなりに綺麗な写真が手軽に撮影できる時代になりました。でも、ちょっとテクニックを使えば、もっと綺麗な写真が撮影できます。ほんの基本的な事ですが、知っていればワンランク上の写真が撮影できます。

テクニック1

“露出”を知ってきれいな写真を撮る

「露出」ってご存知ですか？簡単に言ってしまえば“明るさ”のことですが、写真の明るさを決める要素はたくさんあります。「絞り」「シャッター速度」「感度」…。すべてを加味して撮影してくれるのが「オート」ですが、万能ではありません。撮影シーンに合わせてマニュアル調整してみましょう。何も難しい操作はありません。画像が全体的に暗い時は「露出補正」をプラスに、明るすぎる時はマイナスに調整しましょう。何枚かあって最適な1枚を選べば良いのです。



「露出補正」を
“+”にすると



画像は「らんぷあいの目からうろこの写真撮影」より

テクニック2

「レフ板」で影を調節

レフ板といっても大げさなものではありません。画用紙でも何でも良いのです。商品の近くに（写らないように気をつけて）立てるだけで、影を薄くすることができます。画像は「Nikon Web Magazine」より



お菓子の両脇にレフ板を設置することにより、お菓子の下の方も自然な明るさで、より美味しく感じられました。

テクニック4

三脚とセルフタイマーで手ブレを克服

商品撮影でかかせないのが、「三脚」です。「手ブレ」「ピンボケ」を防ぐのに効果絶大です。小型のもので十分ですが、カメラの角度を自由に調節できるものを選びましょう。三脚にカメラを取り付け、2秒ほどのセルフタイマーで撮影すれば、「手ブレ」の心配がなくなります。ピントが合っていない、「手ブレ」を起こしては何にもなりません。

テクニック5

“比較物”は大きさを伝える大切な情報

どれだけ商品を綺麗に撮影しても、撮影者が思うほど「大きさ」というものは伝わりません。でも比較物を添えるだけで瞬時に大きさが伝わります。右の写真は定番のタバコですが、商品のイメージに合わせて比較物を選定するのも良いでしょう。



パソコンなら「フロッピー」でも“比較物”になります。

テクニック3

「ライティング」ひとつで印象が変わる

カメラのフラッシュだけで商品を撮影しようとすると、どうしても限界があります。「ひとつ上に行くテクニック」として「ライティング」にも注意しましょう。下の写真は左が内蔵フラッシュ、右が照明を使用しています。



内蔵フラッシュでの撮影



ライティングで商品を引き立てる

画像は「らんぷあいの目からうろこの写真撮影」より

フラッシュだけでは影がでたり、明るさが偏ったりしてしまいます。右は、商品の上、やや後ろから照明をあてています。背景も明るくなり、全体が明るい雰囲気になると同時に、商品にも立体感が出てきます。いろんな方向からのライティングを試して、商品が一番引き立つ写真を選びましょう。とにかくデジカメは、「たくさん撮る」ことが大事です。

最近のデジカメ事情

一眼レフデジカメから超コンパクトデジカメまで、様々なタイプがラインナップされています。最近、少しずつ増えてきたのが、「手ブレ補正機能」付きのデジカメと広角デジカメ、そして液晶の大型化です。手ブレ補正は以前ご紹介しましたが、かなり効果がある機能です。広角は広い角度で撮影できますので、部屋の中や、建物、風景をダイナミックに撮れます。一度広角を味わうとやみつきになります。大型液晶は撮影時のピントの合い具合、撮影後の画像の確認に効果を発揮し、今後多くの機種に採用が期待されます。1000万画素を超えるカメラも出てきましたが、画素以外にも注目する点が増えてきました。用途に合ったデジカメでテクニックを磨いてください。

いきなりインストールは危険です！

いよいよWindowsXPのサービスパック2が公開されました。今回のサービスパック2は「セキュリティ強化機能搭載」という名前が付いていて、これまでのプログラムの不具合の修正に加え、セキュリティ機能にも力を入れたアップデートプログラムです。WindowsUpdateから簡単にインストールできるので、通常のWindowsUpdateで入手するパッチファイルのように思えるかも知れませんが、実は導入には気を付けなくてはなりません。サービスパックは、かなり大幅なプログラムの変更が行われていますので、インストール後、これまで動いていたソフトが動かなくなったり、周辺機器が動かなくなったりと、様々な不具合が出る可能性があります。事実、マイクロソフトでも、サービスパックが自動でインストールされないようにするプログラムを配布しています。ご自分のお使いのマシンのメーカーのホームページ、ソフトメーカーのホームページで、サービスパック2に関する情報を確認しましょう。

メーカーのホームページで確認して、問題が無ければインストールになるわけですが、その前にハードディスクの空き容量を確認しておきましょう。サービスパック2をインストールする際、バックアップファイルを作成しますので、余裕を考えて2GB程度の空き容量を確保しておきましょう。

インストールファイルの容量は、マシンの環境にもよりますが、最大で270MB程度です。ダウンロードしてインストール完了までは、数回のクリックで終わりますが、20～30分の時間がかかりますのでご注意ください。時間に余裕があるときにインストールしましょう。

インストール後は「自動更新」の設定に進みますので、通常は自動更新をONに設定しておきましょう。ONにしておけば、アップデートファイルを自動でダウンロードして、インストールまでも自動でおこなえます。いつでもWindowsを最新の状態にしておけます。

次期Windowsの登場は2006年にずれ込んだらしいので、今後もしばらくWindowsXPを使用する事になります。サービスパックやアップデートプログラムを導入して、最新の状態にしておきたいですね。

開発室から

以前もデジカメをテーマにしたことがありましたが、最近デジカメを購入したので、勉強を兼ねて、今回のテーマをデジカメにしました。デジカメのマニュアルやインターネットで検索すると、かなりわかりやすく説明しているサイトが多いことに驚きました。でも、見れば見るほど、知れば知るほどいろんな調整が出来るデジタル一眼レフカメラが欲しくなります。キヤノンのサイトで驚いたのはレンズの価格です。受注生産でしたが、超望遠レンズが一本なんと980万円でした。いったい誰が何を撮る為に買うのでしょうか？？